

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第41週の発生動向

### 全数報告の感染症 (41週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 7例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2例。  
4類感染症：レジオネラ症 1例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	画像所見(空洞性病変)
			70歳代	女	肺結核	画像所見(両側多発小粒状影)
			70歳代	男	肺結核	胸部異常影
		高鍋	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
			30歳代	男	肺結核	胸部CT(右小葉に索状影と淡い網状間質影)
			30歳代	女	無症状病原体保有者	—
			50歳代	男	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	10歳未満	女	患者	腹痛、水様性下痢、血便 O157(VT型不明)
			60歳代	男	無症状病原体保有者	O157(VT2産生)
4類	レジオネラ症	宮崎市	50歳代	男	肺炎型	発熱、意識障害、肺炎
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	10歳未満	女	患者	菌血症 ワクチン接種1回

### 定点把握の対象となる5類感染症

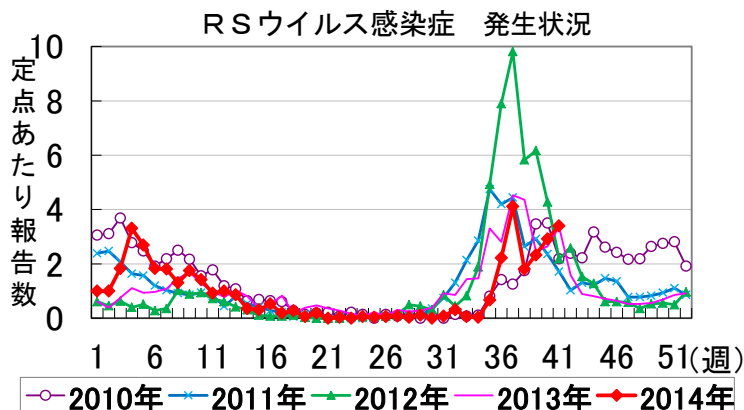
・定点医療機関からの報告総数は 491 人 (定点あたり 15.8) で、前週比 100%と横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

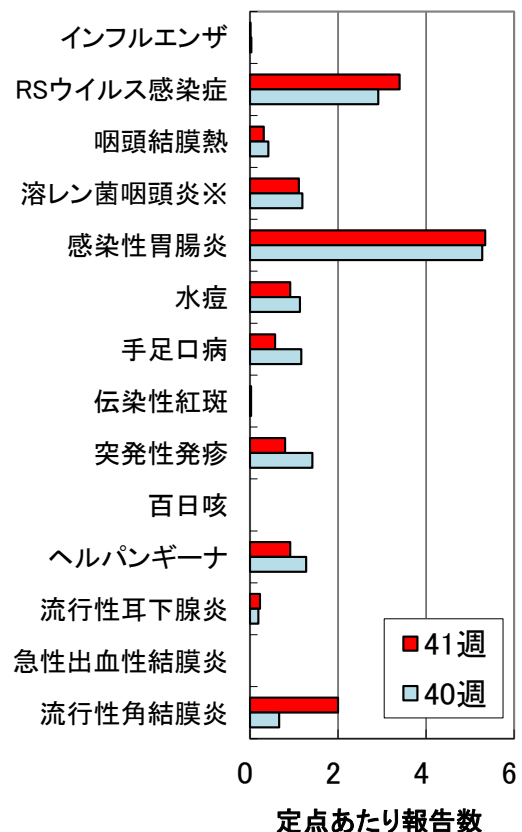
##### 【RSウイルス感染症】

・報告数は 119 人 (3.4) で、前週比 117%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\* (2.1) の約 1.6 倍であった。年齢別では1歳が全体の約半数を占めた。

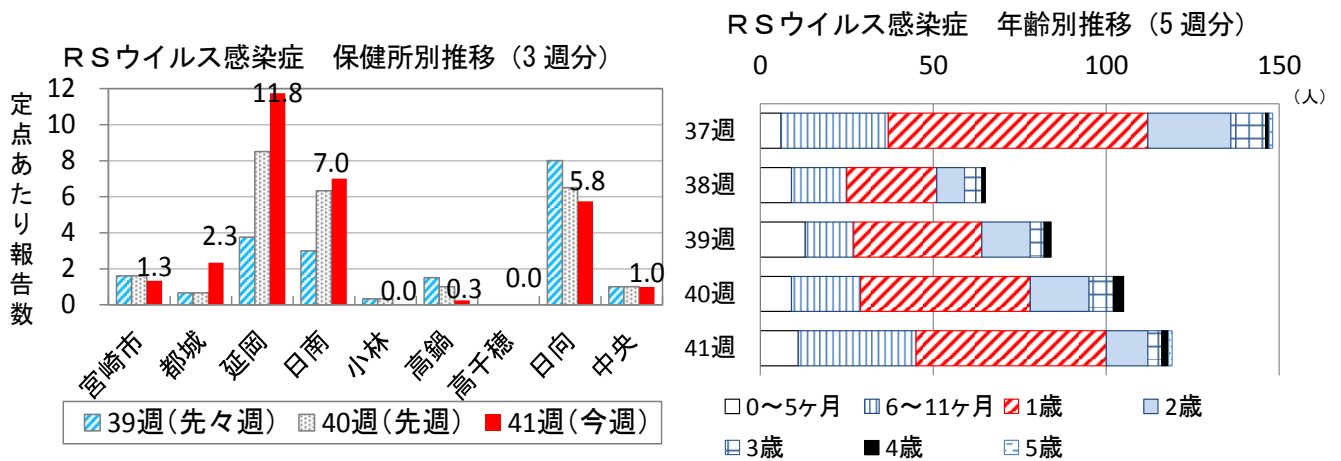
\* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値



### 《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：都城保健所管内から1例報告された。患者は2歳で、病原体不明。

📊 全国第40週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第40週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	378例				
3類感染症	コレラ	1例	細菌性赤痢	7例	腸管出血性大腸菌感染症	79例
	腸チフス	2例	パラチフス	1例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	つつが虫病	1例
	デング熱	9例	日本紅斑熱	11例	レジオネラ症	17例
	レプトスピラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	20例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	18例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	20例	水痘(入院例)	4例	先天性風しん症候群	1例
	梅毒	20例	風しん	4例	麻しん	5例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。今週大きく増加した疾患は感染性胃腸炎と手足口病であった。減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は2,881人(0.92)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。熊本県(3.0)、宮崎県(2.9)、鹿児島県(2.4)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月~1歳が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は9,855人(3.1)で、前週比107%と増加した。大分県(6.1)、宮崎県(5.3)、熊本県(4.6)からの報告が多く、年齢別では1歳~3歳が全体の約3割を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 <9月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は42人（3.2）で、前月比111%と増加した。また、昨年9月（2.2）の約1.4倍であった。

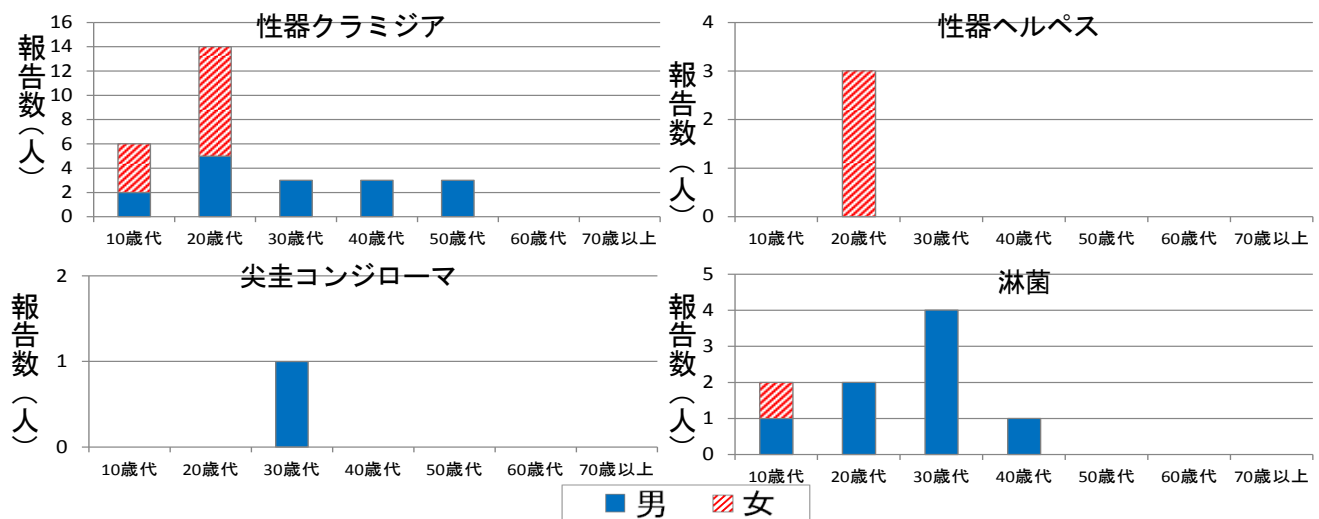
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数29人（2.2）で、前月の約1.4倍、昨年9月の約1.6倍であった。年齢別では20歳代が全体の約半数を占めた。（男性16人・女性13人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月と同程度、昨年9月の約1.5倍であった。（女性3人）

○尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の約0.5倍、昨年9月と同程度であった。（男性1人）

○淋菌感染症：報告数9人（0.69）で、前月の約0.8倍、昨年9月の約1.1倍であった。30歳代が全体の約4割を占めた。（男性8人・女性1人）



【全国】 定点医療機関総数：972

定点医療機関からの報告総数は4,402人（4.5）で、前月比104%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,241人（2.3）で前月比110%、性器ヘルペスウイルス感染症761人（0.78）で前月比100%、尖圭コンジローマ490人（0.50）で前月比93%、淋菌感染症910人（0.94）で前月比101%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で前月比81%と減少した。また昨年9月（4.1）の約0.7倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人（3.0）で、前月の約0.9倍、昨年9月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症\*：報告はなかった。

\*…平成26年9月19日より5類全数把握対象の疾患へ移行

【全国】 定点医療機関総数：476

定点医療機関からの報告総数は1,692人（3.6）で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,524人（3.2）で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症142人（0.3）で前月比91%、薬剤耐性緑膿菌感染症26人（0.05）で前月比63%、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2014年 第41週(10月06日～10月12日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	1	1								
	定点あたり	0.03	0.02	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	105	119	12	14	47	21		1		23	1
	定点あたり	2.92	3.40	1.33	2.33	11.75	7.00	0.00	0.25	0.00	5.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	15	11	1	1	3	3		1		2	
	定点あたり	0.42	0.31	0.11	0.17	0.75	1.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	43	39	17	4	6	1		7	1	3	
	定点あたり	1.19	1.11	1.89	0.67	1.50	0.33	0.00	1.75	1.00	0.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	190	187	35	33	17	25	33	15	2	19	8
	定点あたり	5.28	5.34	3.89	5.50	4.25	8.33	11.00	3.75	2.00	4.75	8.00
水痘	報告数	41	32	3	12	7		2		1	7	
	定点あたり	1.14	0.91	0.33	2.00	1.75	0.00	0.67	0.00	1.00	1.75	0.00
手足口病	報告数	42	20	3	6	4	2	5				
	定点あたり	1.17	0.57	0.33	1.00	1.00	0.67	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	51	28	8	2	5	2	6	2		2	1
	定点あたり	1.42	0.80	0.89	0.33	1.25	0.67	2.00	0.50	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	46	32	17	4	2	2	1	5			1
	定点あたり	1.28	0.91	1.89	0.67	0.50	0.67	0.33	1.25	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	7	8	4	1	1	1				1	
	定点あたり	0.19	0.23	0.44	0.17	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	12	8	4							
	定点あたり	0.67	2.00	2.67	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～41週)

2類感染症	結核	183例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	25例(2)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	6例	日本紅斑熱	5例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	12例(1)				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム腸内細菌感染症	1例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	9例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例(1)
	梅毒	10例	破傷風	1例	風しん	3例
	麻しん	4例				

( )内は今週届出分、再掲